

いきいき かぐらざか

東京厚生年金病院 がん診療情報誌



〈れんげ草〉

れんげ草には「心が和らぐ、苦しみを和らげる」という花言葉があります。「みなさんが自分らしく過ごせるように」という意味をこめて情報誌を作成しております。

東京厚生年金病院 がん診療委員会

新しい外来化学療法室がオープンしました

副院長 志田 晴彦

がん治療の4大柱のひとつである「化学療法」。

東京都認定がん診療病院である当院では2008年に入院せずに治療できる「外来化学療法室」を開設し、さまざまながんに対する治療を日常生活をできるだけ損なわずに行うことを推進してきました。抗がん剤の進歩とともに多種の新しい薬を組み合わせる使用ができるようになり、手術後の補助的治療として、あるいは進行したがんの主要的治療として多くの方に外来化学療法室を利用いただきました。最近では1日に10人から14人、ひと月に延べ240人もの方の治療を6ベッドにより午前午後フル回転で行っていました。



しかし多くの方々にとって2週間から1か月に1回行う定期的治療ですので、スケジュールが重なると予約がとれない日もあります。予約一杯のためやむを得ず一日入院の形で病棟を利用して行うことも少なくありませんでしたし、また連休や年末年始には治療を延期せざるを得ないこともありました。

これに対してかねてより外来化学療法室の拡張とベッド数の増加を計画してきましたが、このたび2013年3月から従来の地下1階から2階に移転した新外来化学療法室がオープンしました。

地下1階の旧化学療法室に比べて明るくゆったりと落ち着いた雰囲気の中で治療を受けていただけることになりました。12ベッドとなる予定ですのでご都合に合わせた予約もとりやすくなると思います。各科外来からの移動に少し時間がかかりますが、待合室もあり快適な空間としてご利用いただけるようスタッフ一同努力いたします。

「手術」「放射線治療」「緩和治療」との組み合わせで、多くの職種との連携により今後も地域に根ざすがん治療を実践していきます。ご意見ご要望など遠慮なくお申し付けください。



【入 口】



【新外来化学療法室】

認定看護師の紹介

手術看護認定看護師 工藤博子

がんに対する手術はもちろんのこと、病気と闘うことは、できれば避けたい事態に違いありません。その中で手術を決められた患者さまが、安心して安全に手術を受け順調に回復されるように、手術医療チーム全員が協力して看護・治療を行っています。

手術看護認定看護師は、日々進歩する医療技術・医療機器に対応し、医師の要求に迅速に応え、その時々のベストパフォーマンスが発揮されるよう、自らも学習し、またスタッフ指導にあたっています。常に「患者さまの気持ちによりそう看護」「意識のない間の患者さまの代弁者」を目指し、手術中の心配事や疑問などに対して、患者さまやご家族に面談を行っています。どうぞお気軽にお問い合わせください。

皮膚・排泄ケア認定看護師 船木智子

皮膚は最大の臓器と呼ばれ、肝臓・脳より重く、約4.8kg、面積は1.6平方メートルにもなり、生命維持のためとても重要です。その皮膚が、より健康な状態で維持できるよう、スキンケアを大切に考え、患者様やご家族、スタッフの相談に対応しています。

年齢を重ねるだけで、皮膚は、潤いや弾力が失われていきます。がんにより放射線や化学療法など治療によってもダメージを受けやすくなります。また、大腸癌や直腸癌などにより人工肛門（ストーマ）が造設される場合があります。その場合も、ストーマ周囲の皮膚がダメージを受けやすくなります。周囲皮膚が健康で、元の生活に戻れるよう、ストーマ外来でも相談をうけています。

緩和ケア認定看護師 榎本英子・井上明美

私たちは、患者様とそのご家族に最期まで「その人らしい生き方」が出来るようにお手伝いをします。がん患者様はがんと診断されたその日から個人の差はありますが、身体(痛み、息苦しさ、だるさなど)のつらさ、不安、悲しみ、生きることを悩んだりする気持ちのつらさ、仕事や家族の問題などの苦しみを感じることがあります。医師、薬剤師などと共に、それを少しでも和らげられるようにお手伝い致します。

また、患者様を支えるご家族の方も、病気や治療、ご自身のお仕事、学業に対して悩んだり・不安に感じると思います。患者様とご家族の方の生活・時間を大切にし、患者様がお亡くなりになった後も乗り越えていけるようにお手伝いを致します。



(右から)

手術看護認定看護師 工藤博子

皮膚・排泄ケア認定看護師 船木智子

緩和ケア認定看護師 井上明美

緩和ケア認定看護師 榎本英子

**「病気のこと、検査のこと、からだのこと、がんのこと、
医療情報ライブラリーで調べてみませんか？」**

庶務課・職員図書室 医療情報ライブラリー担当 山田有希子

2008年4月に開設されてから5年目を迎える「医療情報ライブラリー」(写真①)。今では4名のボランティアさんが担当していただき(写真②)、月・水・木・金の午前中に開館できるようになりました。検査・病気の知識にかんするもの、がんにかんするもの、当院職員の著作などを、「医療情報ライブラリー」で閲覧することができます。

よく読まれている資料はこちらです。

- ・ 食事に困ったときのヒント；がん治療中の患者さんとご家族のために「苦しいときの症状別 Q&A」--改訂版 がん研究振興財団 2012年発行
- ・ 患者のための医療情報収集ガイド(ちくま新書：789)
北澤京子 筑摩書房 2009年発行
- ・ 病院の検査がわかる 検査の手引き--改訂第5版
安藤幸夫 小学館 2007年発行
- ・ 前立腺肥大症・前立腺がん--新版(よくわかる最新医学)
澤村良勝 主婦の友社 2006年発行

これらの資料以外にも医学専門書を揃えているので、「医師から説明を受けたがこの言葉はなんだっただろう。」「がん術後の生活が知りたい。」など、気になることがありますたら気軽にお立ち寄り下さい。

また、「医療情報ライブラリー」でまかないきれない分野の資料は、東京近郊では、東京都立中央図書館(東京都港区南麻布5-7-13)が充実しており、医中誌 Web(国内発行の医学薬学等の論文検索)というオンラインデータベースや医学雑誌がご利用できますので併せてご紹介します。

「医療情報ライブラリー」に併設している「患者さま図書コーナー」では、小説などがおいてあり、院内で自由にお持ちになることができます。外来の待ち時間や入院中にどうぞお読み下さい。職員や患者さまの寄贈で成り立っておりますので、読み終わりましたら忘れずに返却をお願いします

写真①



写真②



新宿区乳がん検診のご案内

当院では、新宿区乳がん検診を行っていますのでご利用ください。

- 〈対象者〉 今年度中に40歳以上になられる偶数年齢の女性
※対象の方には、新宿区から「乳がん一次検診票」が送付されます。
- 〈検査〉 視触診とマンモグラフィー
- 〈検査日〉 毎週 木・金曜日
- 〈負担金〉 新宿区から送付される「乳がん一次検診票」に記載されています。
- 〈場所〉 東京厚生年金病院 健康管理センター（別館2階）
- 〈受付方法〉 事前にお電話にてお申込みください。
月～金曜日（祝日は除く）13時～16時
電話 03-3269-8118

東京厚生年金病院のご案内



【診療科】28診療科

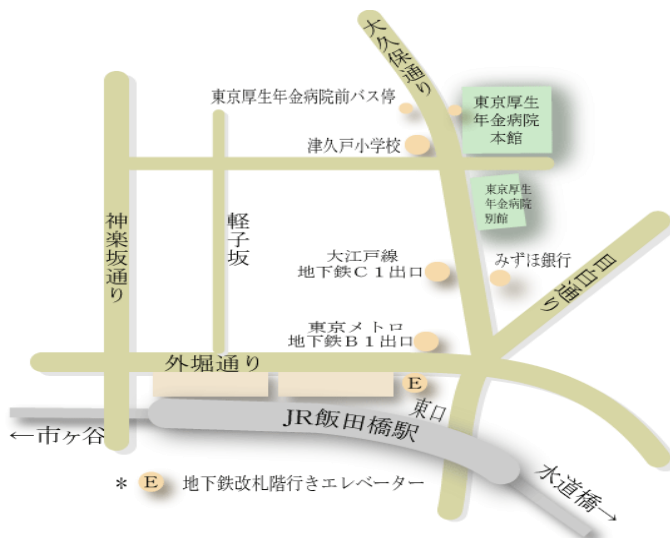
整形外科／形成外科／リハビリテーション科／リウマチ科／外科／脳神経外科／脳神経血管内治療科／内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科／糖尿病内分泌内科／血液内科／緩和ケア内科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／小児科／精神科／放射線科／歯科／歯科口腔外科／麻酔科／病理診断科／救急科

【病床数】520床

【交通案内】

〒162-8543 東京都新宿区津久戸町5-1

東京厚生年金病院 Tel 03-3269-8111（代）



◆ JR 総武線（中央線各駅停車）

飯田橋駅東口 徒歩5分

◆ 東京メトロ 東西線・有楽町線・南北線

飯田橋駅（B1出口） 徒歩4分

◆ 都営大江戸線

飯田橋駅（C1出口） 徒歩3分

*当院に一番近い地下鉄出口「C1」は、都営大江戸線利用の場合のみ便利です。地下鉄で車椅子等でお越しの方は、南北線後楽園駅寄りの改札前にある「地上行きエレベーター」をご利用ください。

発行：東京厚生年金病院 がん診療委員会